

ATP + AMP ふき取り検査を用いた消化管内視鏡の洗浄効果の確認

医療法人財団河北総合病院
医療法人社団誠馨会・セコメディック病院
キッコーマンバイオケミファ(株)企画開発部

谷道 清隆 氏
折笠 亜矢子 氏
佐藤 昇良



医療編

使用後の内視鏡を自動洗浄・消毒装置にかける前に手洗いによる予備洗浄を行うことは非常に重要である。日本医療機器学会の「洗浄評価判定ガイドライン 2012」「医療現場における滅菌保証のガイドライン 2015」など、さまざまな公的文書などでも予備洗浄の重要性や、予備洗浄の効果確認の重要性が謳われている。

本稿は第 76 回日本消化器内視鏡技師学会のランチオンセミナーの講演要旨である。はじめに佐藤が「誰でも簡便かつ迅速に洗浄後の清浄度確認ができる」という特徴を有する ATP + AMP ふき取り検査の特徴などについて解説した後、谷道氏ならびに折笠氏が各院の内視鏡室における ATP + AMP ふき取り検査の活用事例について紹介。谷道氏は「汚れを数値化(見える化)することが、スタッフの意識向上につながった」、折笠氏は「内視鏡の安全管理をする上で、洗浄・消毒の評価やそのための洗浄機や測定器などの医療機器や洗浄・消毒ツールを理解していくことが重要」と語る。